

株主の皆さまへ

# Business Report

報告書 第67期

平成23年4月1日～平成24年3月31日



サンメッセ株式会社



代表取締役会長

田中良孝

代表取締役社長

田中義一

株主の皆さまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、昨年3月の東日本大震災から1年以上経過し、復興への兆しが見えてまいりましたが、被災地ならびに被災された皆さまには改めてお見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。

当社は平成24年3月31日をもって、第67期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに会社の現況につきまして、ご報告申し上げます。

平成24年6月

## CONTENTS

株主の皆さまへ	01
Sun Messe HEADLINE NEWS	02
TOP MESSAGE	03
業績のご報告	07
財務諸表	08
製品部門別の概要	11
TOPICS	12
株式の情報	13
会社の概況	14
株主メモ	14

## 本社工場に最新鋭のUV印刷機を導入し、 パッケージ事業に本格参入いたしました。

パッケージ製品の事業拡大を図るべく、この度本社工場に、ハイデルベルグ・ジャパン株式会社製「CX-102菊全6色+ニスコーター付UV印刷機」を新規導入いたしました。

今回導入しました「CX-102菊全6色+ニスコーター付UV印刷機」は、国内初となるノンストップフィーダーとノンストップデリバリー機能を装備しており、印刷を中断することなく用紙の補充、刷了紙の排出を行うことが可能で、1時間に最高15,000枚を印刷することができます。また、操作を行うオペレー

ションスタンドには最新型の大型液晶モニター、機内にはオンライン品質検査装置を装備。スピーディーに高品質の製品を印刷することができます。また同時に、菊全自動平盤打抜機、サックマシンも新規導入いたしました。

これらの設備導入にあわせ、パッケージ製品の印刷・加工の専門部署となる「UVパッケージ部」を新設。企画・デザイン・構造設計・印刷・加工など、パッケージに関する全ての工程が本社工場内にて完結する、シームレスな製作フローが完成いたしました。

**A** 本社第5工場に導入したCX-102  
菊全6色+ニスコーター付UV印刷機

**B** トムソン加工後、余分な“抜きカス”を  
自動で取り除き製品だけを排出する  
「プランキング機能」がついた  
菊全自動平盤打抜機

**C** 抜き上がった製品のサイド貼り加工を  
行うサックマシン



お客さまにご満足と  
感動を与える製品を  
提供してまいります。

UVパッケージ部長  
山口良次



商業印刷に比べパッケージ印刷は、まだまだ成長を続けている分野です。UVパッケージ部は、この成長分野であるパッケージ印刷の専門部署として新設されました。最新鋭のUV印刷機、菊全自動平盤打抜機、サックマシンを導入し、印刷、加工、包装、出荷がワンフロアで完結できる素晴らしい環境の中、高品質な製品づくりを行ってまいります。そして、お客さまにとって最良の、“感動を与える製品”をお届けします。ぜひ当社のパッケージ製品にご期待ください。



社会に認められる企業として、  
全てのステークホルダーに貢献

Q. 第67期の業績について  
お聞かせください。

日本経済は、東日本大震災の影響を大きく受けたものの、緩やかながら回復基調となって参りました。しかしながら、経済全体として景気の先行きは依然として不透明感が続いております。印刷業界におきましても、紙媒体から電子媒体への移行、同業者間での競争激化、経費削減による需要の減少が続くなど、厳しい経営環境下で推移いたしました。

当社は、このような事業環境の中で「構造改革の年」を会社の年度方針として、変化

## 持続的に活動するための適正な利益を得ることが、 する企業姿勢であると考えております。

に柔軟に対応し新市場、新技術への挑戦を  
推し進めるとともに、生産性の向上やコスト  
低減を図り、収益性の改善と企業体質の  
強化に努めてまいりました。この結果、  
売上高は141億76百万円（前年度比0.3%  
増）、営業利益は17百万円（同78.0%減）、  
経常利益は1億71百万円（同2.8%増）、  
当期純損失として47百万円（前年度は、  
当期純利益11百万円）となりました。

残念ながら、すべての株主・投資家の  
皆さま方のご期待に添う結果とはなりま  
せんでしたが、厳しい環境の中、社員一丸  
となり、それなりの数字を残せたのでは  
ないかという気もいたしております。但  
し、企業に求められている一番大切な事

として、“しっかり利益を出し、社会に認  
められる会社になること”だと常々考えて  
おります。

**Q** 新年度に入り、まずは順調な  
スタートをきったと聞きます。

おかげさまで、好スタートをきらせてい  
ただく事ができました。社員の努力に敬意を  
表しているところです。しかし内容的には、  
シビアに見て行かざるを得ません。

印刷業界は、概ね下半期に売上、利益が  
伸びる傾向にありますが、やはり単月で  
しっかり数字を上げることができる企業に

しなければなりません。コスト削減、生産性の向上を常に意識しながら、適正な利益を確保したいと思っております。

その中でも、単に貪欲に利益を追求することではなく、企業として持続的に活動するための適正な利益を確保し、それをステークホルダーである株主の皆さま、サプライヤーの皆さま、そして社員の幸福に貢献する。という姿勢でありたいと考えております。

**Q.** そのような中、新年度の  
会社方針として「人材育成の年」を  
掲げられました。

やはり『企業は人なり』との思いから、“オールサンメッセ”としての基本に戻り、人材を活かすことの必要性を改めて打ち

出しました。一人ひとりの社員が社会や企業の役に立ち、プロとしてお客さまにご満足いただけるものを提供しながら成長し続ける人財となるように、様々な教育プログラムを通じて育成を図りたいと考えております。こういった取り組みが企業の成長に大きく寄与し、経営基盤の強化につながるものと考えております。

**Q.** 具体的な成長戦略について  
教えてください。

私が社長に就任してからも、厳しい経営環境の中でも必要なことには常に経営資源を投下し、適切な設備投資を行って参りました。既に今年度も4月1日付にて「品質保証室」を新設し、品質に特化したより良い製品を生産する体制と様々な施策

をスタートさせました。

また、新たに「UVパッケージ部」を設立し、大型の設備投資をさせていただきました。これからの商材として大きく期待されているパッケージ分野にも注力して参ります。今後も、人材もモノも必要であれば、積極的に投資を行っていく所存です。

今年度は必ずや営業利益、経常利益、最終利益まで黒字化させねばなりません。当面の目標となる数字は、決して高いハードルではございませんが、着実に利益を確保し、

それらを徐々に高く出来るように努力して参ります。

Q. 最後に、株主・投資家の皆さまにメッセージをお願いします。

平成7年に店頭公開した時、企業というのはきちんとやっていれば株価はついてくるものだと言われましたが、経営として、一つひとつのことを着実に実施することを通じ、企業価値を高めることが、株主・投資家の皆さまのご期待に応えることと考えております。おかげさまで第67期の配当金は1株当たり6円となっております。

当社のモットーでもございます「顧客第一主義」の下、社員全員で取組んで参りますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

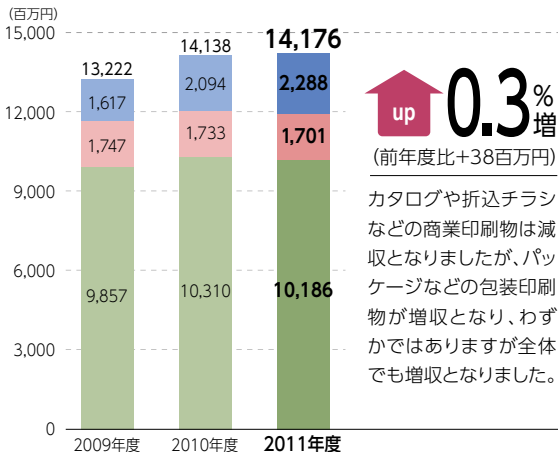


# 業績のご報告

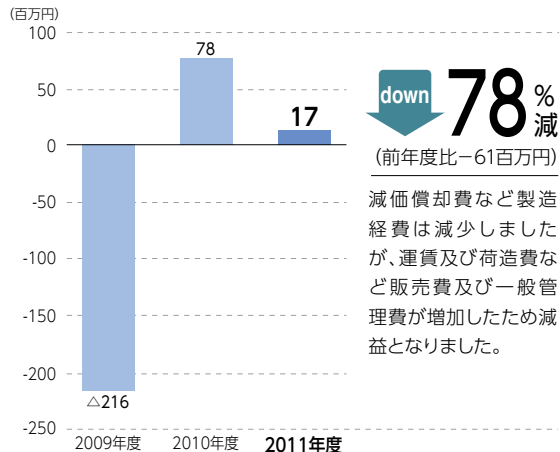
財務ハイライト (各年度:4月1日~3月31日)

## 売上高

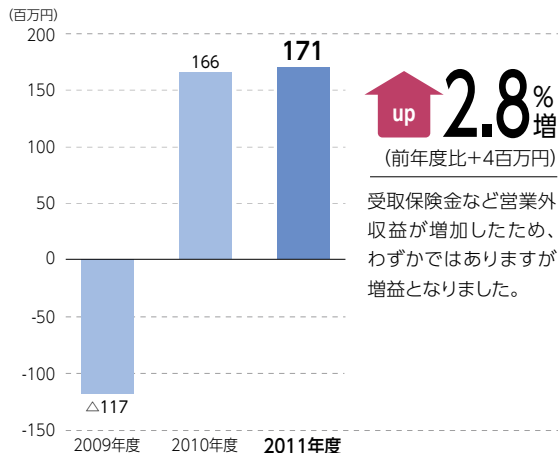
■ 商業印刷 ■ 出版印刷 ■ 包装印刷



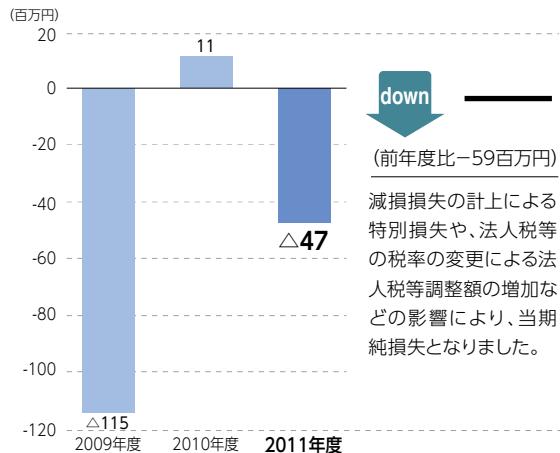
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



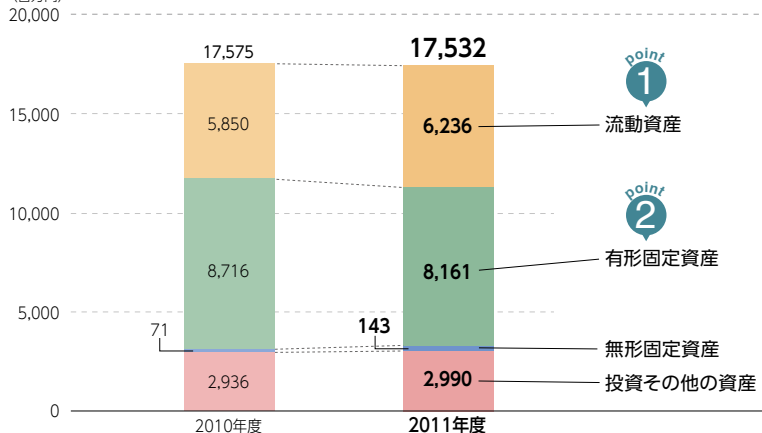


# 財務諸表

## 貸借対照表 (3月31日現在)

### 資産の部

(百万円)



point  
1

#### 流動資産

受取手形などの増加により増加しました。

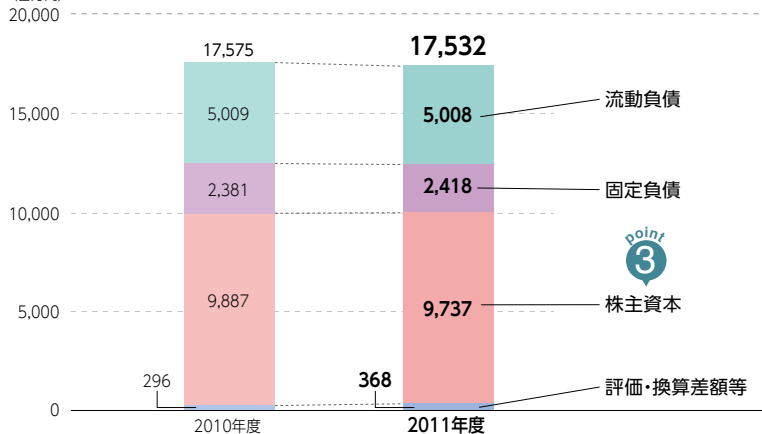
point  
2

#### 有形固定資産

機械及び装置などが、減価償却などにより減少しました。

### 負債・純資産の部

(百万円)

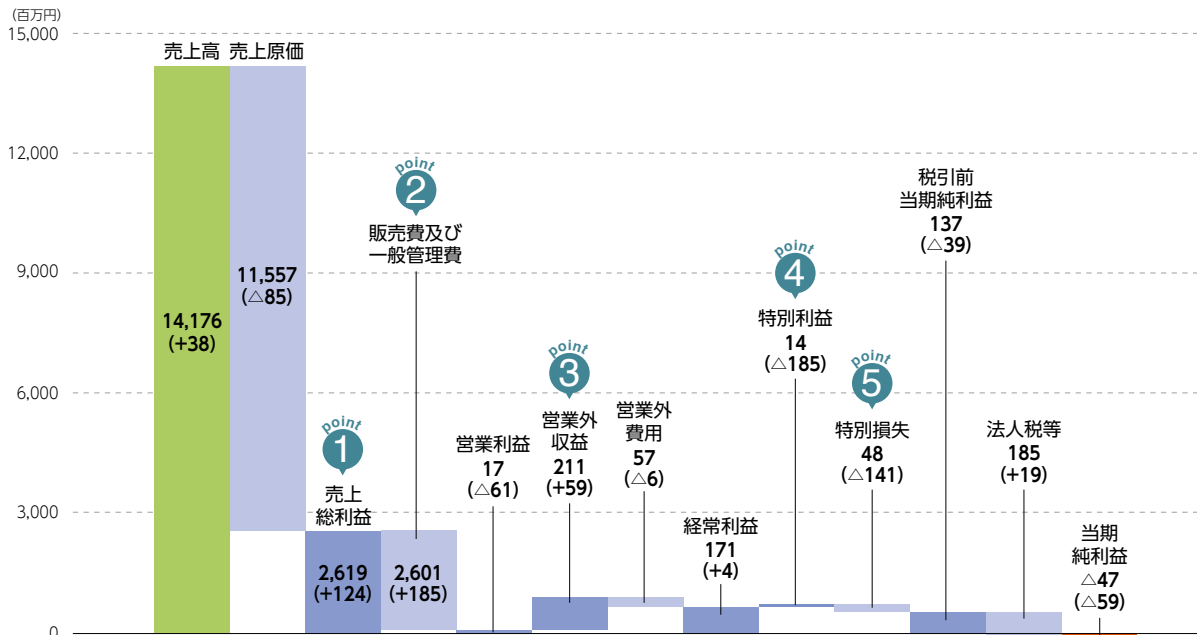


point  
3

#### 株主資本

剰余金の配当などにより、繰越利益剰余金が減少したため減少となりました。

## 損益計算書 (2011年4月1日～2012年3月31日)



※ ( )内は対前年度比

point  
1

### 売上総利益

減価償却費の減少などにより1億24百万円の増加となりました。

point  
2

### 販売費及び一般管理費

運賃及び荷造費の増加などにより1億85百万円の増加となりました。

point  
3

### 営業外収益

受取保険金の増加などにより増加となりました。

point  
4

### 特別利益

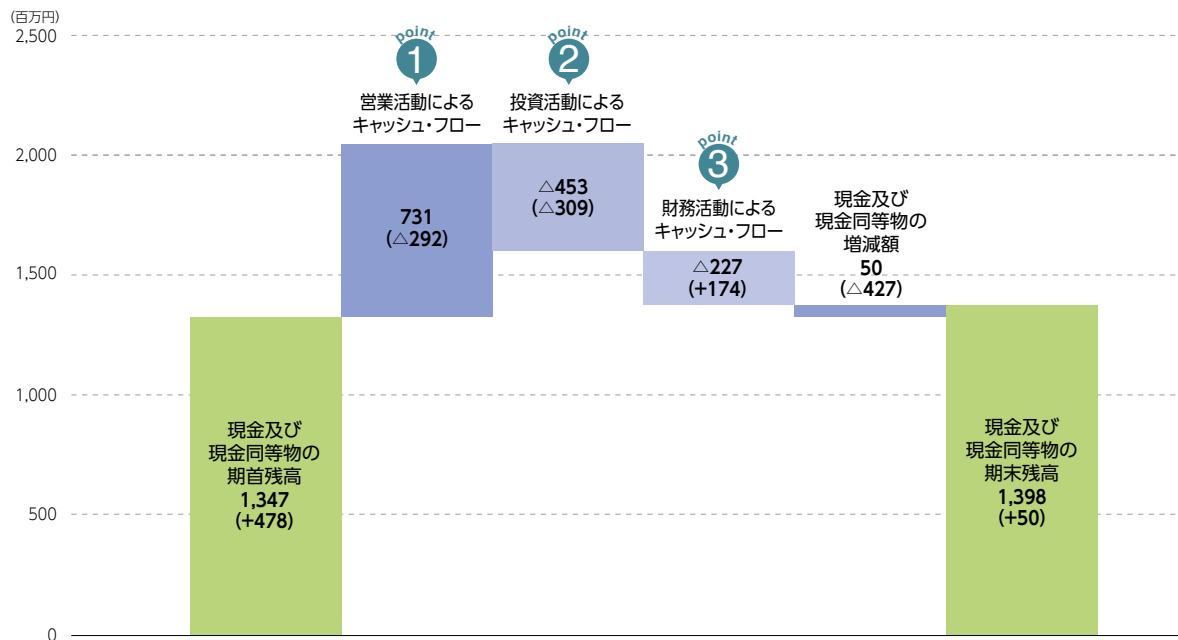
前期に計上した退職給付制度の移行に伴う退職給付制度終了益が今期にはなかったため、減少となりました。

point  
5

### 特別損失

前期に計上した投資有価証券評価損が今期にはなかったため、減少となりました。

## キャッシュ・フロー計算書 (2011年4月1日～2012年3月31日)



※ ( )内は対前年度比

point  
**1**

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

外注加工費や消費税等の支払額が増加したため、収入が減少しました。

point  
**2**

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産や投資有価証券の取得が増加したため、支出が増加しました。

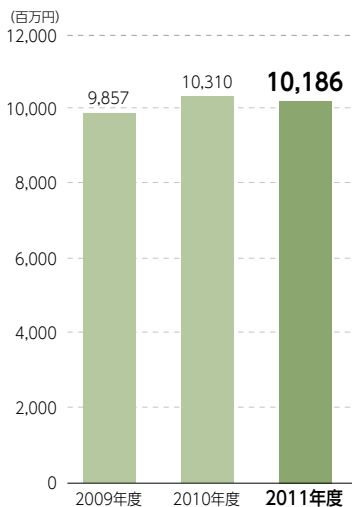
point  
**3**

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が減少しましたが、短期借入金の返済が減少したため、支出が減少しました。

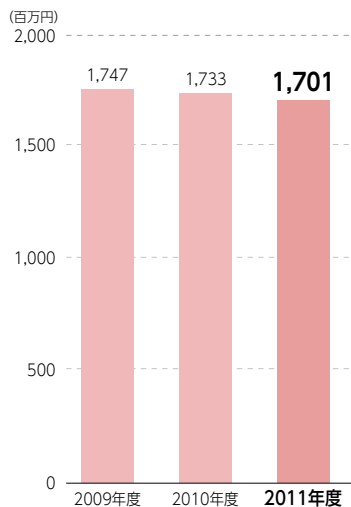
# 製品部門別の概要

## 商業印刷



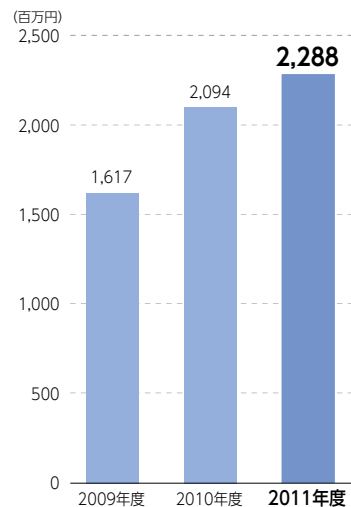
帳票類、伝票フォーム印刷等が減少し、前期の売上高を下回りました。

## 出版印刷

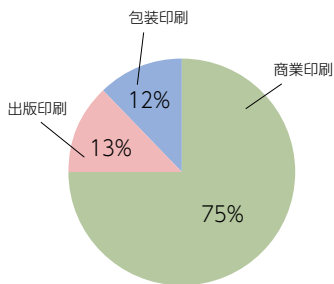


取扱説明書、大型カタログ等の減少により、前期の売上高を下回りました。

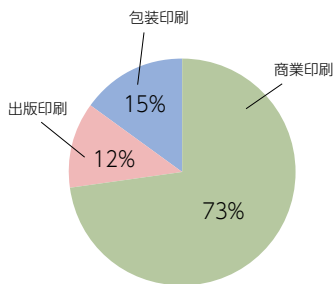
## 包装印刷



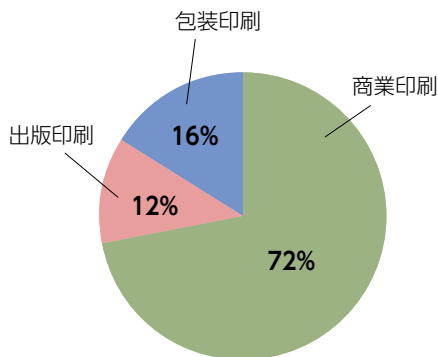
パッケージ印刷等の増注により、前期の売上高を上回りました。



2009年度



2010年度



2011年度

## JFAこころのプロジェクト 「夢の教室」を開催

平成23年12月、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」（通称：ユメセン）を大垣市内の小学校にて開催いたしました。

「ユメセン」とは、現役JリーガーやOB選手、その他の種目のアスリートを「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行うJFA（日本サッカー協会）の取り組みです。昨年に引き続き、当社夏祭りの売上金と社員からの募金により、社会貢献活動の一環として開催いたしました。

今回「夢先生」として教壇に立ったのは、元サッカー日本代表、Jリーグ ガンバ大阪、浦和レッズでゴールキーパーとして活躍した



「夢先生」の  
都築龍太氏

都築龍太氏。自身の体験を元に「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」など、講義と実技を交えて子供たちに伝えていただきました。

なお、この当社の取り組みがきっかけとなり、平成24年5月、地元大垣市とJFAの間で「夢の教室」事業協定が結ばれ、市内全22校での開催が決定いたしました。

## インフォメーションポスター『PosPit』\*を共同開発

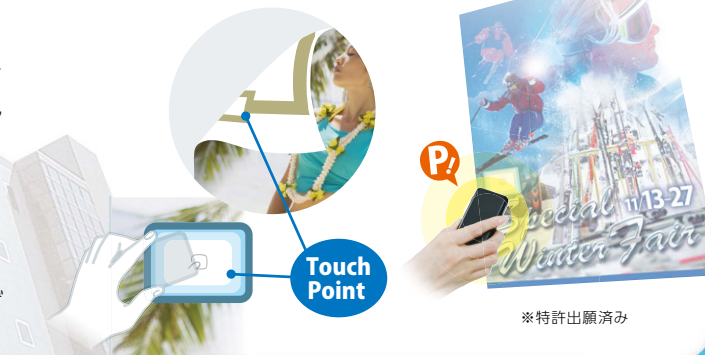
当社は、路線バス・鉄道などの電装機器メーカーであるレシップ株式会社様（岐阜県本巣市）と共同し、当社の導電性インキを使用した印刷技術と同社の電子部品組立の技術を組み合わせた『PosPit』（ポスピット）を開発いたしました。

『PosPit』は、FeliCa機能搭載の携帯電話などをポスターにかざす（非接触）だけで、情報入手できる新しいICT（Information & Communication Technology）広告ツールです。QRコードのようにカメラ機能を起動する必要もなく、印刷物から手軽に簡単に情報入手することができます。

情報発信用アンテナをポスター裏面に導電性インキを使って印刷。プログラムが組み込まれた基板からインキ部分を介して情報が携帯電話に送られるという仕組みです。ポスターのデザ

インはもちろん、アンテナ位置も自由に変えることができます。

販促や告知など、様々な用途にご活用いただける技術・製品ですので、幅広いクライアント様に販売促進してまいります。



※特許出願済み

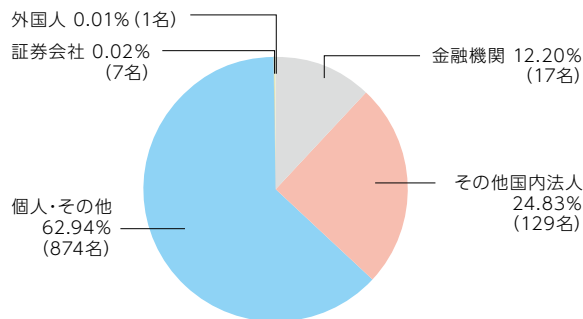
## 株式の情報

## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

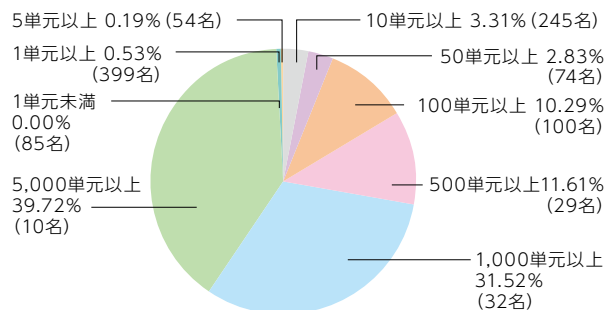
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	17,825,050株
株主数	1,028名

## 株式分布状況

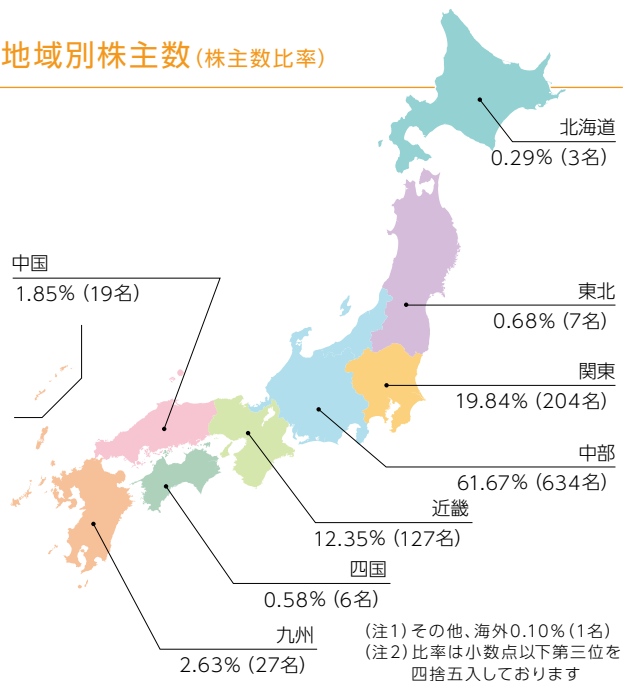
## 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



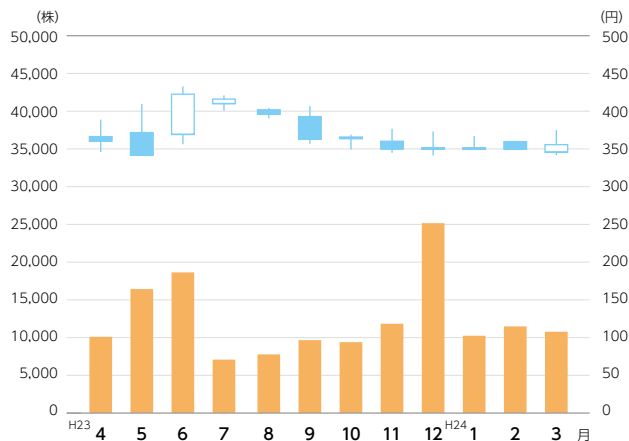
## 所有数別株式分布状況 (株式数比率)



## 地域別株主数 (株主数比率)



## 株価推移



# 会社の概況

## 会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	734名 (他社への出向者、嘱託、パートは含まれておりません。)

## 主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

## 役員 (平成24年6月28日現在)

取締役会長	*田中良幸	
取締役副会長	*田中勝英	
取締役社長	*田中義一	
取締役	松井 巖	常務執行役員営業本部長 兼 公共営業部長
取締役	田中尚一郎	常務執行役員営業副本部長 兼 関東統括部長
取締役	木村伸男	執行役員監査室長
取締役	長井芳郎	執行役員営業副本部長 兼 愛知統括部長
取締役	水谷和則	執行役員営業副本部長 兼 営業開発部長
取締役	今井 稔	執行役員購買本部長 兼 購買部長
取締役	竹林啓路	執行役員品質保証室長
取締役	伊東 覚	執行役員製造本部長
常勤監査役	長屋英機	
監査役	吉野 銚城	
監査役	伊藤 暁	
監査役	石岡 秀夫	税理士 ※は、代表取締役であります。

## 本社および事業所 (平成24年6月28日現在)

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店 (東京都江東区) 大阪支店 (大阪府中央区) 名古屋支店 (名古屋市中区) 愛岐支店 (愛知県一宮市) 岐阜支店 (岐阜県岐阜市)
営業所	津営業所 (三重県津市) 京都営業所 (京都市中京区) 滋賀営業所 (滋賀県彦根市) 岡崎営業所 (愛知県岡崎市)
研究所	サンメッセ情報館 (岐阜県大垣市)
工場	本社工場 (大垣市)・中工場 (大垣市)・西工場 (大垣市)
系列会社	日本イベント企画株式会社 (岐阜県岐阜市)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス <a href="http://www.sunmesse.co.jp/">http://www.sunmesse.co.jp/</a>

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 全国本支店で行っております。

### [お知らせ]

#### ■ 株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続き(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主さまは、上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

#### ■ 配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主さまは、上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

#### ■ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

## ホームページのご案内

### トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。IR情報(投資家さま向け情報)にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちらもどうぞご利用下さい。

### IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



人物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

# サンメッセ株式会社



JQA-EM1779  
本社・本社工場  
中工場・西工場



19 000127



FSC® C014669



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版  
印刷を採用しています。



この報告書を作成する際に排出されたCO<sub>2</sub> 254.4kg(1部あたり197.5g)は、カーボンフリーコンサルティング(株)を通じ、東日本大震災の被災地である宮城県産の国内クレジットにてオフセットしております。この印刷物を通じ、地球温暖化防止へ貢献するとともに、被災地支援にも協力させていただいております。